

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成23年11月11日
【四半期会計期間】	第51期第2四半期(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)
【会社名】	株式会社エンチョー
【英訳名】	ENCHO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 遠藤 健夫
【本店の所在の場所】	静岡県富士市中央町2丁目12番12号
【電話番号】	(0545)57-0850
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室長 長谷川 英一
【最寄りの連絡場所】	静岡県富士市中央町2丁目12番12号
【電話番号】	(0545)57-0850
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室長 長谷川 英一
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第50期 第2四半期連結 累計期間	第51期 第2四半期連結 累計期間	第50期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(千円)	22,757,546	24,705,276	45,705,327
経常利益(千円)	514,217	725,345	1,238,007
四半期(当期)純利益(千円)	152,383	393,354	563,549
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	89,831	403,179	515,587
純資産額(千円)	8,089,975	8,780,421	8,445,995
総資産額(千円)	36,652,985	40,102,866	38,553,222
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	11.13	28.75	41.18
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	22.1	21.9	21.9
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	2,194,197	808,181	2,542,957
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	238,817	1,928,464	788,670
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,872,455	1,025,914	722,646
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	1,827,939	2,188,402	2,292,125

回次	第50期 第2四半期連結 会計期間	第51期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	7.71	13.79

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第50期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災による影響や放射能汚染問題、さらには海外経済の停滞懸念を背景とした円高など、先行き不透明な状況が広がりました。

ホームセンター業界におきましては、市場規模の横ばい状態が続く中、規模の拡大を進める上位企業を中心にグループを形成しながらの再編とオーバーストア化が進みつつあります。

このような状況の中、当社グループは、ホームセンターは地域社会のインフラであり「困ったときに頼りになる店」を目指し、お客様のニーズに合った魅力ある売場づくりを推進すべく、品揃えの拡大と鮮度管理、新商品の早期導入を徹底し、定番商品の活性化に積極的に取り組みました。

販売の状況につきましては、東日本大震災の影響により防災・節電意識の高まりを受け、防災用品や夏場の節電対策用品が好調に推移いたしました。リフォーム部門では、本年3月の事業部制への移行により変化する市場ニーズに対応した提案を推進し、専門性の高いサービスの提供と事務の効率化を進めております。

店舗の状況につきましては、平成23年4月静岡県静岡市清水区に郊外型ショッピングセンターの「ベイドリーム清水」及び「ホームアシスト清水駒越店」を出店いたしました。

「ベイドリーム清水」は「ホームアシスト清水駒越店」を核店舗に60の専門店を展開する静岡市最大級のショッピングセンターで、管理運営業務をグループ会社である株式会社ジェイ・イー・サービスが行う初のデベロッパー事業であります。

また、「ホームアシスト清水駒越店」は、当社2店舗目の大型ホームセンター業態であり、新たに車検等を行う本格的なカーピットを設置したほか、プロ需要にも対応した品揃えを実現するなど既存店にない充実したサービスを提供しております。

専門店の「c a s a」及び「S W E N」におきましては、同じく「ベイドリーム清水」内に出店した2店舗を含め3店舗を出店いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、24,705百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は891百万円（同22.9%増）、経常利益は725百万円（同41.1%増）、四半期純利益は393百万円（同158.1%増）となりました。セグメントの業績は次のとおりであります。

ホームセンター事業は、上記「ホームアシスト清水駒越店」に加え、昨年9月にオープンした「ジャンボエンチャー豊橋神野店」が寄与し、売上高は22,439百万円（同8.2%増）、セグメント利益は635百万円（同49.9%増）となりました。

専門店事業につきましても、新店の寄与により売上高は1,763百万円（同9.3%増）、セグメント利益は107百万円（同58.7%増）となりました。

（2）財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、40,102百万円となり前連結会計年度末に比べ1,549百万円の増加となりました。これは主に商品の増加426百万円、有形固定資産の増加1,033百万円によるものであります。

負債合計は、31,322百万円となり前連結会計年度末に比べ1,215百万円の増加となりました。これは主に長短借入金金の増加1,133百万円によるものであります。

純資産合計は、8,780百万円となり前連結会計年度末に比べ334百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加324百万円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は営業活動による収入808百万円、投資活動による支出1,928百万円、財務活動による収入1,025百万円の結果、前連結会計年度末に比べ103百万円減少し、2,188百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、808百万円(前年同期比1,386百万円の収入減)となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益676百万円、減価償却費444百万円、法人税等の支払額449百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,928百万円(前年同期比2,167百万円の支出増)となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出1,901百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1,025百万円(前年同期比2,898百万円の収入増)となりました。この主な要因は、長期借入れによる収入1,891百万円、長期借入金の返済による支出820百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 主要な設備

前連結会計年度末において計画であった主要な設備の新設、休止、大規模改修、除却、売却等について、当第2四半期連結累計期間に著しい変動があったものは、次のとおりであります。

新規出店

ホームセンター事業において、前連結会計年度末に計画しておりましたベイドリーム清水新設工事は、平成23年4月に完了し、同月より営業しております。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,714,995	13,714,995	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	13,714,995	13,714,995	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高 (千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	13,714,995	-	2,902,954	-	3,435,559

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
有限会社無量寿	静岡県富士市永田北町4番地の15	2,988	21.78
エンチャー共栄会	静岡県富士市中央町2丁目12番12号	1,583	11.54
ユニー株式会社	愛知県稲沢市天池五反田町1番地	1,235	9.00
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	666	4.85
エンチャー従業員持株会	静岡県富士市中央町2丁目12番12号	643	4.69
遠藤 健夫	静岡県富士市	411	2.99
遠藤 敏東	静岡県富士市	407	2.97
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	264	1.92
山種不動産株式会社	東京都中央区日本橋箱崎町8番1号	232	1.69
株式会社静岡銀行 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	静岡県静岡市葵区呉服町1丁目10番地 (東京都港区浜松町2丁目11番3号)	176	1.28
計	-	8,608	62.76

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 32,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,624,000	13,624	-
単元未満株式	普通株式 58,995	-	-
発行済株式総数	13,714,995	-	-
総株主の議決権	-	13,624	-

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社エンチャー	静岡県富士市中央町2丁目12番12号	32,000	-	32,000	0.23
計	-	32,000	-	32,000	0.23

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,564,125	2,460,402
受取手形及び売掛金	777,550	744,261
商品	8,512,781	8,939,294
仕掛品	14,528	35,509
貯蔵品	8,333	9,590
繰延税金資産	172,906	205,136
その他	524,856	684,061
貸倒引当金	10,423	10,709
流動資産合計	12,564,660	13,067,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,244,056	8,184,122
土地	11,638,683	11,638,683
建設仮勘定	2,313,948	54,694
その他(純額)	538,263	890,777
有形固定資産合計	19,734,951	20,768,277
無形固定資産	93,424	92,700
投資その他の資産		
投資有価証券	705,947	713,666
長期貸付金	1,596,710	1,538,672
敷金及び保証金	2,773,255	2,772,344
繰延税金資産	473,442	467,867
その他	690,344	756,257
貸倒引当金	79,514	74,467
投資その他の資産合計	6,160,185	6,174,341
固定資産合計	25,988,562	27,035,319
資産合計	38,553,222	40,102,866
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,023,158	7,302,035
短期借入金	4,366,656	6,624,160
未払法人税等	472,504	338,656
その他	3,731,773	2,642,158
流動負債合計	15,594,093	16,907,010
固定負債		
社債	598,800	1,327,200
長期借入金	10,674,816	9,550,596
退職給付引当金	819,589	824,056
資産除去債務	118,471	273,126
その他	2,301,456	2,440,456
固定負債合計	14,513,134	14,415,434
負債合計	30,107,227	31,322,445

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,902,954	2,902,954
資本剰余金	3,435,559	3,435,559
利益剰余金	2,123,717	2,448,657
自己株式	14,150	14,488
株主資本合計	8,448,080	8,772,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,085	7,740
その他の包括利益累計額合計	2,085	7,740
純資産合計	8,445,995	8,780,421
負債純資産合計	38,553,222	40,102,866

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	22,757,546	24,705,276
売上原価	16,215,059	17,473,447
売上総利益	6,542,487	7,231,828
営業収入	215,465	555,978
営業総利益	6,757,952	7,787,807
販売費及び一般管理費	6,032,415	6,895,824
営業利益	725,537	891,982
営業外収益		
受取利息	19,540	18,671
受取配当金	6,585	6,760
その他	24,238	26,653
営業外収益合計	50,364	52,085
営業外費用		
支払利息	149,766	165,145
シンジケートローン手数料	77,911	20,665
その他	34,007	32,911
営業外費用合計	261,685	218,721
経常利益	514,217	725,345
特別損失		
減損損失	150,212	1,049
店舗移転損失	-	3,773
出店計画中止損失	-	4,761
投資有価証券評価損	-	19,950
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	61,295	-
災害による損失	-	18,900
特別損失合計	211,507	48,435
税金等調整前四半期純利益	302,709	676,910
法人税、住民税及び事業税	168,355	314,976
法人税等調整額	18,029	31,419
法人税等合計	150,325	283,556
少数株主損益調整前四半期純利益	152,383	393,354
四半期純利益	152,383	393,354

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	152,383	393,354
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	62,552	9,825
その他の包括利益合計	62,552	9,825
四半期包括利益	89,831	403,179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,831	403,179
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	302,709	676,910
減価償却費	242,702	444,585
減損損失	150,212	1,049
投資有価証券評価損益(は益)	-	19,950
貸倒引当金の増減額(は減少)	6,416	1,870
退職給付引当金の増減額(は減少)	21,665	4,466
長期未払金の増減額(は減少)	-	2,640
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	61,295	-
有形固定資産除却損	2,660	72
受取利息及び受取配当金	26,126	25,431
支払利息	149,766	165,145
為替差損益(は益)	6,537	9,354
売上債権の増減額(は増加)	13,546	50,146
たな卸資産の増減額(は増加)	433,294	448,749
仕入債務の増減額(は減少)	909,509	285,359
未払消費税等の増減額(は減少)	78,719	180,443
その他	46,935	410,528
小計	2,359,919	1,408,433
利息及び配当金の受取額	12,963	10,310
利息の支払額	146,391	161,009
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	32,294	449,552
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,194,197	808,181
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	350,000	-
有形固定資産の取得による支出	97,546	1,901,191
投資有価証券の取得による支出	360	13,053
敷金及び保証金の差入による支出	105,739	85,737
敷金及び保証金の回収による収入	115,533	86,647
その他	23,069	15,131
投資活動によるキャッシュ・フロー	238,817	1,928,464
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	2,930,000	59,000
長期借入れによる収入	805,000	1,891,619
長期借入金の返済による支出	415,153	820,530
社債の発行による収入	-	1,000,000
社債の償還による支出	96,600	821,600
長期未払金の返済による支出	33,717	34,853
セール・アンド・リースバックによる収入	943,089	-
リース債務の返済による支出	76,633	178,976
自己株式の増減額(は増加)	108	337
配当金の支払額	68,331	68,407
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,872,455	1,025,914
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,537	9,354
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	554,022	103,722
現金及び現金同等物の期首残高	1,273,917	2,292,125
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,827,939	2,188,402

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)												
1 偶発債務 保証債務 下記の連結会社以外の会社の金融機関よりの借入に対し債務保証を行っております。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">(会社名)</td> <td style="text-align: right;">(金額)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(有)THエンタープライズ</td> <td style="text-align: right;">270,000千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">270,000</td> </tr> </table>	(会社名)	(金額)	(有)THエンタープライズ	270,000千円	計	270,000	1 偶発債務 保証債務 下記の連結会社以外の会社の金融機関よりの借入に対し債務保証を行っております。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">(会社名)</td> <td style="text-align: right;">(金額)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(有)THエンタープライズ</td> <td style="text-align: right;">270,000千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">270,000</td> </tr> </table>	(会社名)	(金額)	(有)THエンタープライズ	270,000千円	計	270,000
(会社名)	(金額)												
(有)THエンタープライズ	270,000千円												
計	270,000												
(会社名)	(金額)												
(有)THエンタープライズ	270,000千円												
計	270,000												

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)												
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">従業員給料手当</td> <td style="text-align: right;">2,137,653千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">128,383</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">賃借料</td> <td style="text-align: right;">1,229,466</td> </tr> </table>	従業員給料手当	2,137,653千円	退職給付費用	128,383	賃借料	1,229,466	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">従業員給料手当</td> <td style="text-align: right;">2,232,637千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">113,001</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">賃借料</td> <td style="text-align: right;">1,357,310</td> </tr> </table>	従業員給料手当	2,232,637千円	退職給付費用	113,001	賃借料	1,357,310
従業員給料手当	2,137,653千円												
退職給付費用	128,383												
賃借料	1,229,466												
従業員給料手当	2,232,637千円												
退職給付費用	113,001												
賃借料	1,357,310												

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)												
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">2,097,939千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">270,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">1,827,939</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	2,097,939千円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	270,000	現金及び現金同等物	1,827,939	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">2,460,402千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">272,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">2,188,402</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	2,460,402千円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	272,000	現金及び現金同等物	2,188,402
現金及び預金勘定	2,097,939千円												
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	270,000												
現金及び現金同等物	1,827,939												
現金及び預金勘定	2,460,402千円												
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	272,000												
現金及び現金同等物	2,188,402												

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年5月24日 取締役会	普通株式	68,429	5.00	平成22年3月31日	平成22年6月23日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年10月29日 取締役会	普通株式	68,427	5.00	平成22年9月30日	平成22年12月6日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月23日 取締役会	普通株式	68,414	5.00	平成23年3月31日	平成23年6月22日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月28日 取締役会	普通株式	68,411	5.00	平成23年9月30日	平成23年12月5日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ホームセン ター事業	専門店 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,739,265	1,614,206	22,353,471	404,074	22,757,546	-	22,757,546
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	1,462,833	1,462,833	1,462,833	-
計	20,739,265	1,614,206	22,353,471	1,866,908	24,220,379	1,462,833	22,757,546
セグメント利益	423,991	67,963	491,954	137,111	629,066	96,471	725,537

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材卸売事業及び情報処理・プログラム開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

利益	金額
セグメント間取引消去	4,773
全社費用の配賦額の予算実績差異	91,698
合計	96,471

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失

(単位:千円)

	ホームセンター事業	専門店事業	合計
減損損失	150,172	40	150,212

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ホームセン ター事業	専門店 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,439,741	1,763,813	24,203,555	501,721	24,705,276	-	24,705,276
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	552,068	552,068	552,068	-
計	22,439,741	1,763,813	24,203,555	1,053,789	25,257,344	552,068	24,705,276
セグメント利益	635,524	107,868	743,393	86,471	829,864	62,117	891,982

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、木材卸売事業及び情報処理・プログラム開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

利益	金額
セグメント間取引消去	63
全社費用の配賦額の予算実績差異	62,053
合計	62,117

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失

(単位：千円)

	ホームセンター事業	専門店事業	合計
減損損失	1,049	-	1,049

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	11円13銭	28円75銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	152,383	393,354
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	152,383	393,354
普通株式の期中平均株式数(千株)	13,685	13,682

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第51期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)中間配当については、平成23年10月28日開催の取締役会において、平成23年9月30日の最終の株主名簿に記載された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

- (1) 中間配当金の総額 総額68,411千円
- (2) 1株当たり配当額 5円00銭
- (3) 効力発生日 平成23年12月5日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月11日

株式会社エンチョー
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松本 正一郎 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 谷口 公一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エンチョーの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エンチョー及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。